

登園についての意見書

年 月 日

園児氏名 _____

生年月日 _____ 年 月 日

下記の疾病で 年 月 日から療養中のところ現在治癒し、他児への感染の恐れはないと
思われますので 年 月 日から登園してよいと判断します。

記

病名 (_____)

病院名 _____

電話番号 _____

医師名 _____ (印)

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発疹出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
新型コロナウイルス感染症	発症後 5 日間	発症した後 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過すること。※無症状の感染者の場合は、検体接種日を 0 日として、5 日経過すること
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 2 4 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症後 5 日を経過し、かつ解熱後 3 日を経過するまで
風疹	発疹出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現 1 ～ 2 日前から痂皮形成まで	全ての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱 （プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強い為、結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を修了するまで
腸管出血性大腸菌 感染症 (O-157, O-26, O-111 等)		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が修了し 4 8 時間をあけて連続 2 回の検便によっていずれも菌陰性が確認されてから
急性出血性結膜炎	ウィルスが呼吸器から 1 ～ 2 週間、便から数週間～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで